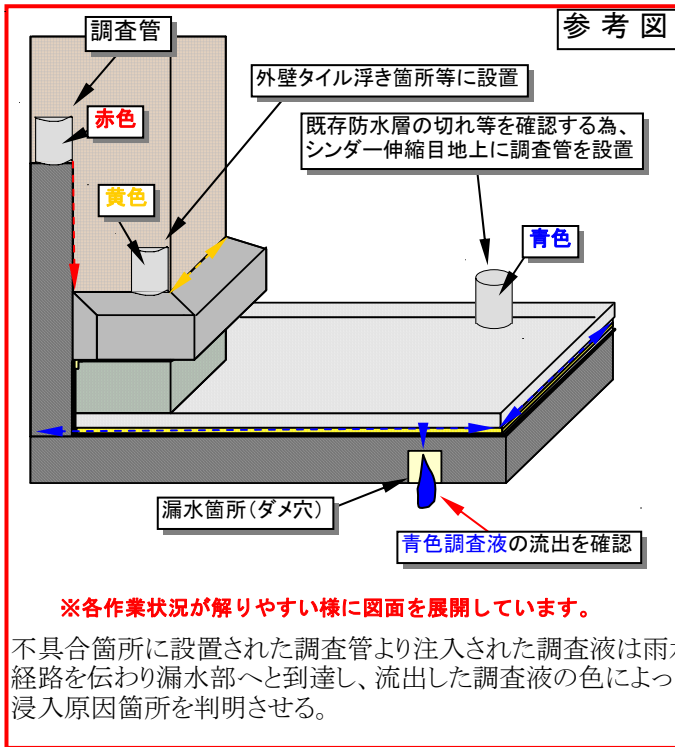


漏水調査診断方法



ラドコンスーパー8



調査管

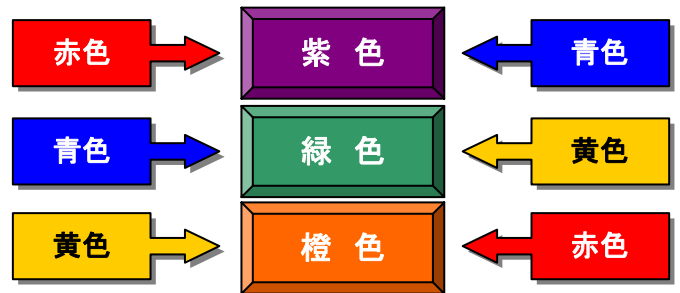
静水圧調査液注入試験法・製品概要

【調査液】	製品名	ラドコンスーパー8
	特性	透明弱臭気あり
	成分	カルシウムイオン液
	PH	10
	引火点	101℃以上

【特徴】 ラドコンスーパー8は乾燥後結晶化するため目視確認が容易に出来る。又、弱臭気があるため手で接触し、臭気を判断することにより雨水の浸入経路を割り出すことが出来る。

【調査法】 不具合部に調査管を設置して調査液を注入し漏水試験を実施する。調査液を静水圧で注入し、既存漏水箇所及び外部不具合箇所への調査液流出、結晶体の析出、臭気による目視確認を行い、雨水浸入経路を再現する。

[2色の調査液が混合すると以下の状況で流出が確認される。]



静水圧調査液注入試験調査状況写真

調査日程： 内装解体・撤去及び漏水部確認、外部目視調査(1日)
 調査液注入試験調査用、調査管(ポスト)設置(1日)
 調査液注入試験調査・調査液補充、室内漏水箇所確認(3日)
 調査管撤去(1日)
 報告書作成 調査完了後 1〜2週間

- ※1. 補修工事 原因確認後補修内容検討の上別途、打合せ。
- ※2. 漏水確認箇所1箇所に対して上記の日数がかかります。
- ※3. 室内解体後、漏水部確認の状況により調査日数・内様の変更があります。

作業行程： 以下のタイムテーブルで調査を進行します。
 ※作業進行状況により若干時間が前後する事があるので、その際は御協力下さい。

	9:00	12:00	13:00	16:00	17:00
1日目	室内作業内容 内装解体・漏水箇所確認	昼食	漏水箇所水受け養生設置	撤去・清掃	
	外部作業内容 外部目視調査		調査管設置		
2〜5日目	9:00	12:00	13:00	16:00	17:00
	室内作業内容 漏水箇所確認(30分程度)	昼食	漏水箇所確認(30分程度)	撤去・清掃	
	外部作業内容 調査液注入・補充		調査液注入・補充		
6日目	9:00	12:00	13:00	16:00	17:00
	室内作業内容 漏水箇所確認(30分程度)	昼食	漏水箇所清掃作業	撤去・清掃	
	外部作業内容 調査管撤去・清掃		調査管撤去・清掃		

【 II 静水圧調査液注入試験調査(ポスト工法) 】

静水圧調査液注入試験調査(ポスト工法)作業状況

外部目視調査による漏水原因と予測される不具合箇所(不具合箇所)に調査管を設置固定後、漏水調査液を注入し2日～7日間以上放置させ、漏水箇所及び外部不具合箇所への調査液流出、結晶体の析出、臭気による目視確認を行い、雨水浸入状況を再現する。
 ※外部不具合箇所(不具合箇所)に注入した調査液は結晶化するので雨水浸入状況が目視できます。

静水圧調査液注入試験調査状況



参考写真

調査管設置状況参考写真

- 1 調査管を再剥離型シーリング剤で固定。
- 2 液洩れを防止の為、既存シーリング不具合部・亀裂等をシーリング処理する。
- 3 漏水調査液を調査管内部に注入する。
- 4 注入後24時間～48時間以上放置する。
 ※ 12時間間隔で調査液の補充を行うと共に室内漏水箇所の確認も同時に行う。
- 5 48時間以上経過後、室内への流出を確認して調査管等の撤去を行う。



赤色調査液



青色調査液



黄色調査液

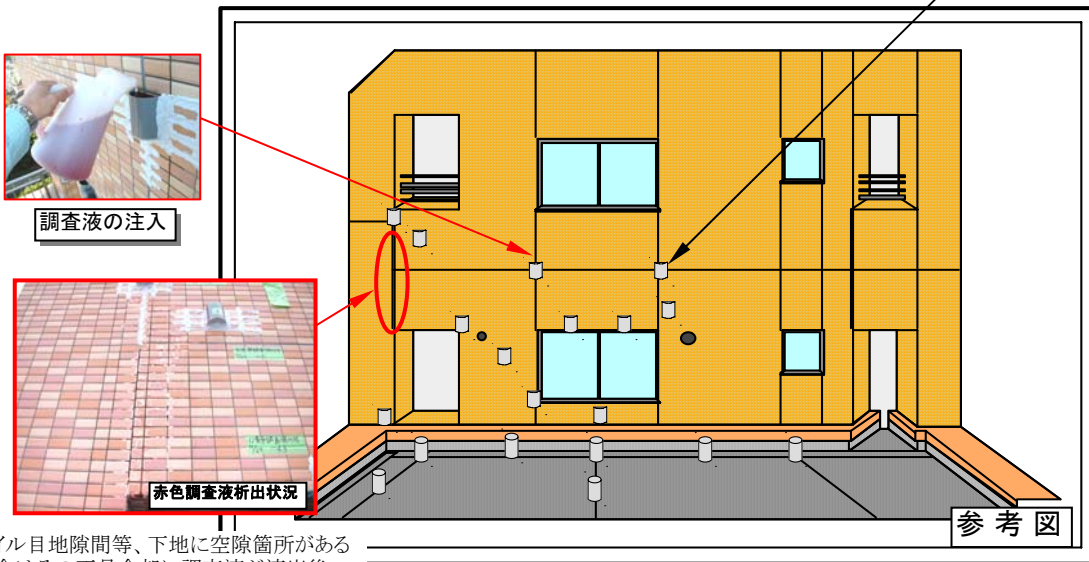


白色調査液

静水圧調査液注入試験調査は様々な不具合箇所において、調査管の設置が行えます。

漏水診断調査例

各不具合箇所(不具合箇所)に調査管を設置する



調査液の注入

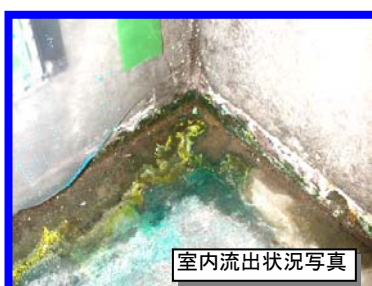
赤色調査液析出状況

参考図

タイル目地隙間等、下地に空隙箇所がある場合はその不具合部に調査液が流出後、析出しエフロッセンスの様な形で目視により確認することができる。



室内流出状況写真



室内流出状況写真



天井亀裂箇所流出例

天井亀裂、床打継ぎ等の漏水箇所において色により雨水浸入箇所の特定ができる。